

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第21週)

宮城県【平成26年05月29日】発行  
 宮城県保健環境センター  
 TEL (022)257-7228

— 2014.5.19 ~ 5.25 ・ 第21週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第18週	第19週	第20週	第21週
水痘		3 0.30	2 0.40	4 2.00	7 2.33	1 0.20	1 0.50	12 0.46	30 0.52	953	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎			2 0.40		1 0.33			14 0.54	17 0.29	247	→	→	→	
百日咳							1 0.50	1 0.02	5	→	→	→		
感染性胃腸炎	31 6.20	90 9.00	22 4.40	34 17.00	29 9.67	79 15.80	22 11.00	364 14.00	671 11.57	10,696	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病							1 0.04	1 0.02	26	→	→	→		
伝染性紅斑	2 0.40	5 0.50	8 1.60	5 2.50	2 0.67	10 2.00	1 0.50	15 0.58	48 0.83	773	レ→	○→	○→	○
突発性発しん	1 0.20	7 0.70	11 2.20		4 1.33	5 1.00		13 0.50	41 0.71	713	レ→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ		1 0.10						1 0.02	9	→	→	→		
インフルエンザ	16 2.00	5 0.33	1 0.13	6 2.00	2 0.40	2 0.25	8 2.00	7 0.17	47 0.51	28,840	◎→	◎→	◎→	○
咽頭結膜熱				4 2.00		2 0.40		15 0.58	21 0.36	216	→	→	→	
流行性角結膜炎		2 0.67						3 0.50	5 0.42	48	→	→	→	
急性出血性結膜炎			1 1.00					1 0.08	2	→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.40	28 2.80	7 1.40	1 0.50	8 2.67	21 4.20		71 2.73	143 2.47	2,822	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			3 3.00				9 9.00	1 0.20	13 1.08	182	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症			1 0.20					6 0.23	7 0.12	297	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	5	1		2	2	1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病		1											
	不明発疹症													
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※					1			49					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
  - 仙台管内 男児\*1名、女性3名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: ジアルジア症
  - 仙台管内 女性1名
  - 侵襲性肺炎球菌感染症
    - 石巻管内 男性1名、男児\*1名
    - 大崎管内 男性1名、女性1名
    - 仙台管内 女性1名

\*男児、女児は6歳未満

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

### 今週の感染症のコメント

#### — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- [感染性胃腸炎] 栗原管内で警報継続中。
- [伝染性紅斑] 栗原管内で警報継続中。石巻管内で警報値を超えた。

### 【病原体検出情報】

#### ～宮城県保健環境センター～

- 感染性胃腸炎集団発生事例より
  - 塩釜管内 第21週採取分 ノロウイルスG II 4件
  - 栗原管内 第21週採取分 ノロウイルスG II 5件
  - 石巻管内 第21週採取分 ノロウイルスG II 4件

#### ～仙台医療センターウイルスセンター～

	第19週採取分 (5.5～5.11)	第20週採取分 (5.12～5.18)	第21週採取分 (5.19～5.25)
インフルエンザウイルスAH1pdm	1件	0件	0件
インフルエンザウイルスC	0件	1件	0件
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	2件	0件
RSウイルス	2件	2件	0件
Aデングウイルス	1件	0件	0件

- [感染性胃腸炎] 県全体の患者数は横ばい傾向で、依然としてノロウイルスによる集団発生事例があり、患者からもノロウイルスが検出されているため、今後も引き続き注意を要する。

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群 (%)	年齢群 (%)											総数 (人)
		0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
2014年 第18週		20.1	36.7	17.2	6.3	2.6	3.9	3.9	3.4	2.6	2.6	0.8	384
第19週		21.3	20.6	25.2	5.2	4.5	7.1	5.8	3.2	3.9	1.9	1.3	155
第20週		14.6	29.1	23.3	7.8	4.9	6.8	3.9	4.9	1.0	0.0	103	
第21週		2.1	29.8	23.4	4.3	6.4	10.6	4.3	10.6	6.4	0.0	2.1	47

## インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第19週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(8.55)、岩手県(3.73)、福島県(3.26)である。24都道府県から報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～9歳(18例)、10代(4例)、30代(1例)、40代(2例)、50代(4例)、60代(5例)、70代(11例)、80歳以上(13例)であった。RSウイルス感染症: 報告数は262例と第16週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.35)、富山県(1.10)、石川県(1.00)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(2.90)、福井県(2.73)、福岡県(2.58)である。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(13.27)、宮崎県(12.64)、大分県(12.25)である。水痘: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は新潟県(2.57)、福岡県(2.56)、石川県(2.38)である。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(1.00)、宮城県(0.83)、沖縄県(0.71)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。45都道府県から275例報告があり、年齢別では0歳(34例)、1～4歳(185例)、5～9歳(44例)、10代(9例)、50代(1例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数